



鶴見大学・鶴見大学短期大学部
平成28年度新入生保護者アンケート

調査結果報告書

平成28年6月

調査概要

▶ 調査目的

－ 鶴見大学および鶴見大学短期大学部の新入生保護者における入学満足度、大学選択行動と意識、大学に期待する事柄などを把握する。

▶ 調査対象

－ 平成28年度鶴見大学・鶴見大学短期大学部の新入生の保護者

▶ 調査方法

－ 郵送調査：保護者宅に調査票を郵送、同封の返信用封筒にて回収

▶ 配布・回収数

－ 配布数 821 件

－ 回収数 397 件 (回収率 48.4 %)

－ 学部別回収状況

	配布数	回収数	(回収率)
•文学部	363 件	175 件 (48.2 %)
•歯学部	105 件	64 件 (61.0 %)
•短期大学部	353 件	157 件 (44.5 %)

※在籍学部学科 不明 1件

▶ 調査期間

－ 2016年4月25日(月) ～ 2016年5月27日(金) ※ 当初締切の5月13日(金)から回収期間を延長、5月27日(金)到着分までを集計対象とした。

▶ 調査項目

－ 回答者プロフィール：保護者の続柄、新入生の性別、新入生の在籍学部学科、受験時に利用した入試方法

－ 保護者の大学選択行動と意識：保護者の受験時間与度、オープンキャンパス・歯学部一日体験入学参加経験、認知経路、情報源、進学を奨めた理由、入学に対する満足度

－ 保護者の大学に対する期待：保護者が学生生活に期待する事柄、重点的に取り組んでほしい事柄

▶ 時系列

－ 平成27年度調査

•回収数

－ 配布数 936件 回収数 440 件(回収率 47.0%)

－ 学部別回収状況

	配布数	回収数	(回収率)
文学部	405 件	177 件	(43.7%)
歯学部	109 件	60 件	(55.0%)
短期大学部	422 件	203 件	(48.1%)

•調査期間 2015年4月30日(木) ～ 2015年5月15日(金)

調査結果:サマリー

【全体】

- 回答者の66%は女子学生の保護者。利用した入試方法は、指定校推薦が41%、AO入試は24%、一般・センター利用が23%。
- ▶ 鶴見大学・鶴見大学短期大学部への入学に対して、52%が「充分満足している」と回答。昨年度(47%)よりも「充分満足している」割合は増加した。
 - ただし、「満足・計」までみると、昨年度からの大きな変化はみられない。
- ▶ 保護者の受験時間関与度については、23%が非常に関わっており、ある程度関わった(57%)まで含めると80%が関わったと回答している。
 - 昨年度と概ね同様の結果。
- ▶ 鶴見大学への進学を奨めた理由、保護者が学生生活に期待する事柄、鶴見大学に重点的に取組んでほしい事柄は、概ね昨年と同様の結果。
 - 保護者が鶴見大学への進学を奨めた理由は「学びたい学科・授業内容があるから」(69%)が最も高く、「交通の便・立地条件」「資格取得・就職サポート」が4割台で続く。
 - 保護者が学生生活に期待する事柄は、「将来に役立つ資格を取得してほしい」(80%)が最も高く、「専門知識を身につけてほしい」「友人・仲間を増やしてほしい」が7割弱で続く。
 - 鶴見大学に重点的に取組んでほしい事柄は、「キャリア形成・就職活動支援」(70%)が突出して高い。次いで「修学支援・奨学制度」(38%)が続く。

<文学部>

- 男子学生の保護者が過半数(54%)を占める。入試方法は、指定校推薦 43%、AO入試 23%、一般・センター利用 24%と、全体とほぼ同様。
- ▶ 受験時の保護者の関与度・入学満足度をみると、いずれもTOPBOXが他学部 비해低い。
 - 2ndBOXまでみると、全体値と同程度～やや下回る程度。
- ▶ 進学を奨めた理由は「学びたい学科・授業内容がある」(70%)への集中がみられ、学生生活への期待は「好きな学問を学んでほしい」(63%)が他学部 비해高く、他学部 비해『好きな学問・学びたい学科』に重きを置いている様子が見える。
- ▶ 重点的に取組んでほしい事柄について、「キャリア形成・就職活動支援」は文学部でも突出しており、就職への関心は強い。また3位には「国際交流の促進」がランクインしており、国際性が養われる環境を望んでいると考えられる。

<歯学部>

- 男子学生の保護者が56%、入試方法は「一般・センター利用入試」が55%を占める。
- ▶ 受験時の保護者の関与度が最も高く(関わった・計 91%)、入学満足度は52%が「充分満足している」。
- ▶ 進学を奨めた理由は、「大学の教育方針・理念」「学内の雰囲気」「施設・設備」が他学部 비해高く、学内の状況や設備までみて検討している様子が見える。また5位には「本学在校生・卒業生からの薦め」がランクインしており、他学部 비해周囲からの薦めが理由となっている割合が高い。
- ▶ 学生生活に対して「専門知識を身につけてほしい」(86%)と期待し、大学には「施設・設備の拡充」(45%)への取組みを望む割合が高い。また重点的に取組んでほしい事柄の「その他」には「国家試験対策」を挙げる人が多く(自由回答より)、歯科医として成長するのに適した環境を望む傾向が見える。

■ 回答者の主なプロフィールと総合指標の一覧表

		全体		文学部	歯学部	短期大学部
		28年度	(27年度)			
調査数(人)		397	(440)	175	64	157
新入生性別	男性	34.0	(31.4)	53.7	56.3	3.2
	女性	65.7	(67.7)	46.3	42.2	96.8
利用した入試方法	AO入試	24.4	(26.6)	22.9	6.3	33.8
	指定校推薦(附属を含む)入試	41.3	(49.1)	42.9	12.5	51.0
	指定校以外推薦・計	7.8	(7.3)	8.6	12.5	5.1
	一般・センター利用・計	22.9	(15.9)	24.0	54.7	8.9
保護者の受験時間関与度	関わった・計	79.6	(77.3)	76.0	90.6	79.0
	非常に(積極的に)関わった	22.7	(21.4)	17.7	40.6	21.0
	ある程度関わった	56.9	(55.9)	58.3	50.0	58.0
入学満足度	満足・計	90.4	(92.5)	89.1	89.1	92.4
	充分満足している	52.4	(46.8)	46.9	51.6	59.2
	ある程度満足	38.0	(45.7)	42.3	37.5	33.1
OC・体験入学参加	参加・計	62.0	(69.8)	56.6	39.1	77.7

※平成28年度全体値より **10** 10ポイント以上高い **5** 5ポイント以上高い **5** 5ポイント以上低い まとめ001

<短期大学部>

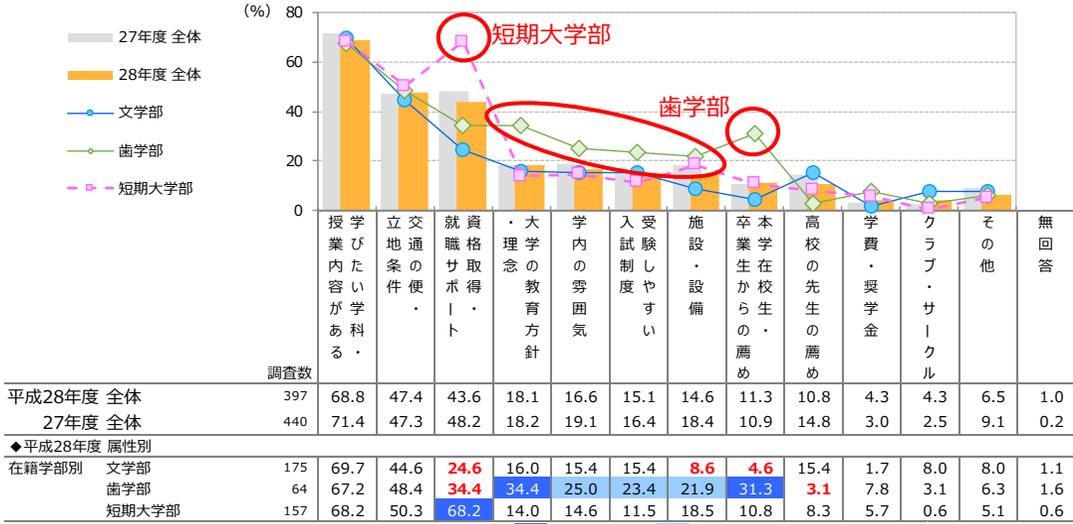
- 女子学生の保護者が大多数(97%)を占める。

入試方法は、AO入試(34%)、指定校推薦(51%)の割合が高い。

- ▶ 保護者の受験時間与度は全体と同程度(関わった・計 79%)、OC参加率は3学部中で最も高い(78%)。
- ▶ 入学満足度は「充分満足している」(59%)が3学部中で最も高く、満足度が高い。
- ▶ 進学を奨めた理由では「資格取得・就職サポート」(68%)が他学部比べて高く、学生生活への期待も「将来に役立つ資格」(88%)や「専門知識」(81%)が高く、「専門性を高め、将来役立つ資格の取得」を願う姿がみられる。

■保護者が鶴見大学への進学を奨めた理由 (全体/複数回答)

Q10 学生ご本人に本学へ進学を奨めた理由は何ですか。

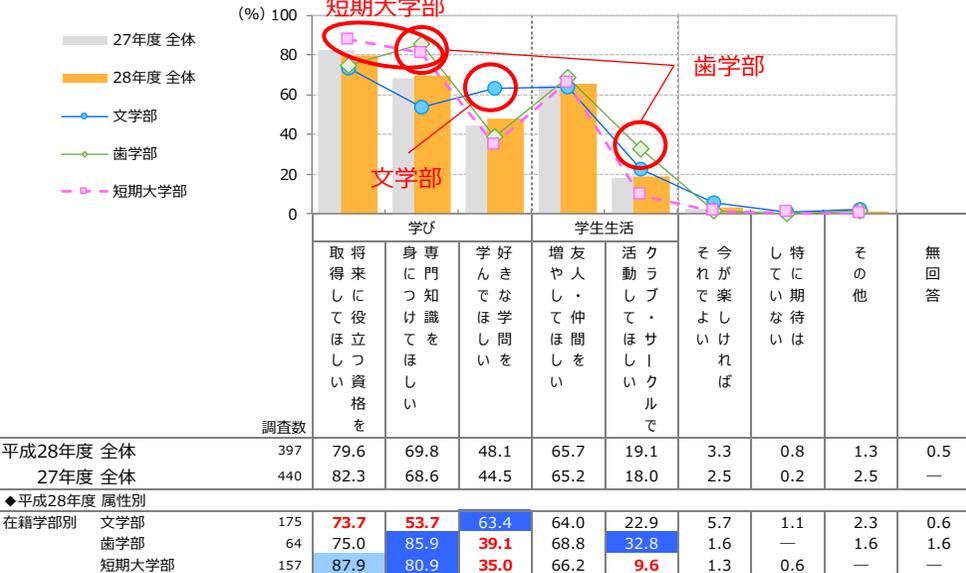


※平成28年度全体のスコアの降順ソート

※平成28年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い

■保護者が学生生活に期待する事柄 (全体/複数回答)

Q11 学生ご本人のこれからの学生生活に期待していることはどのようなことですか。

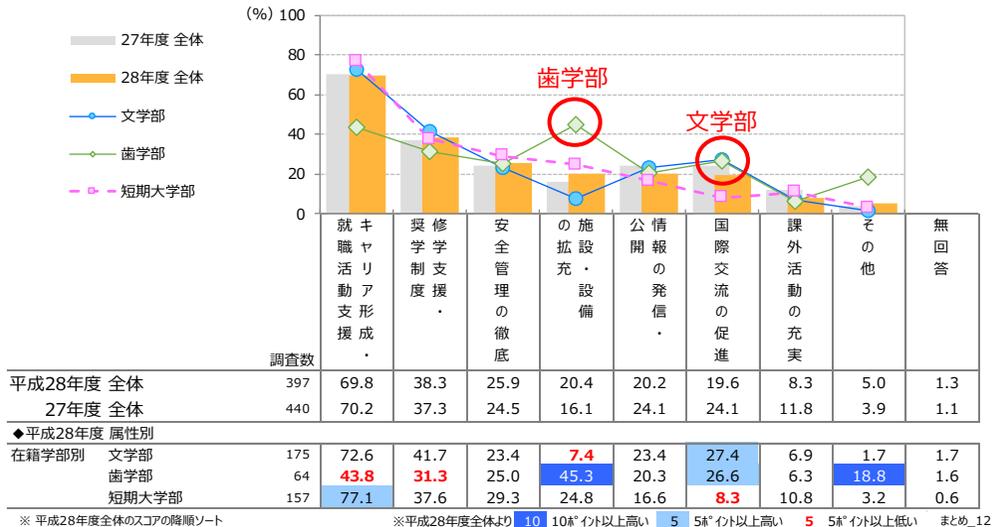


※カテゴリーごとに平成28年度全体のスコアの降順ソート

※平成28年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い

■鶴見大学に重点的に取り組んでほしい事柄 (全体/複数回答)

Q12 今後、本学に重点的に取り組んでほしいこととはどのようなことですか。



※平成28年度全体のスコアの降順ソート

※平成28年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い



調査結果

【保護者と新入生の基本属性】

▶ 回答者は、ほぼ「親」。

－ 昨年度と同様。

■ 保護者の続柄（全体／単一回答）

Q1 学生ご本人との続柄をお知らせください。

	親	親以外・計			無回答	親以外・計
		祖父母	兄弟	その他		
●凡例						
平成28年度 全体 (n= 397)	99.0%	0.5	0.3	0.3	0.8	
27年度 全体 (n= 440)	98.9	1.1	—	—	1.1	
◆平成28年度 属性別						
在籍学部別						
文学部 (n= 175)	100.0%	—	—	—	—	
歯学部 (n= 64)	98.4	—	—	1.6	—	
短期大学部 (n= 157)	98.1	—	—	1.3	0.6	
新入生性別						
男性 (n= 135)	100.0	—	—	—	—	
女性 (n= 261)	98.5	—	—	0.8	0.4	
利用入試方法別						
AO入試 (n= 97)	99.0	—	—	1.0	—	
指定校推薦 (n= 164)	100.0	—	—	—	—	
指定校以外の推薦 (n= 31)	100.0	—	—	—	—	
一般・センター利用入試 (n= 91)	97.8	—	—	1.1	1.1	

※平成28年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い

1_01

▶ 学生ご本人の性別は、「男性」34%、「女性」66%。

- － 昨年度との大きな差異はみられない。
- － 在籍学部別にみると、文学部と歯学部は、5割超が「男性」、短期大学部は、大半が「女性」。
- － 利用入試方法別にみると、AO入試層と指定校推薦層は「女性」が7割台、指定校以外の推薦層と一般・センター利用入試層は「男性」が5割台。

■ 新入生の性別（全体／単一回答）

Q2 学生ご本人の性別をお知らせください。

	男性	女性	無回答
平成28年度 全体 (n= 397)	34.0%	65.7	0.3
27年度 全体 (n= 440)	31.4	67.7	0.9
◆平成28年度 属性別			
在籍学部別			
文学部 (n= 175)	53.7%	46.3	—
歯学部 (n= 64)	56.3	42.2	1.6
短期大学部 (n= 157)	3.2	96.8	—
利用入試方法別			
AO入試 (n= 97)	20.6	79.4	—
指定校推薦 (n= 164)	25.6	74.4	—
指定校以外の推薦 (n= 31)	58.1	41.9	—
一般・センター利用入試 (n= 91)	50.5	48.4	1.1

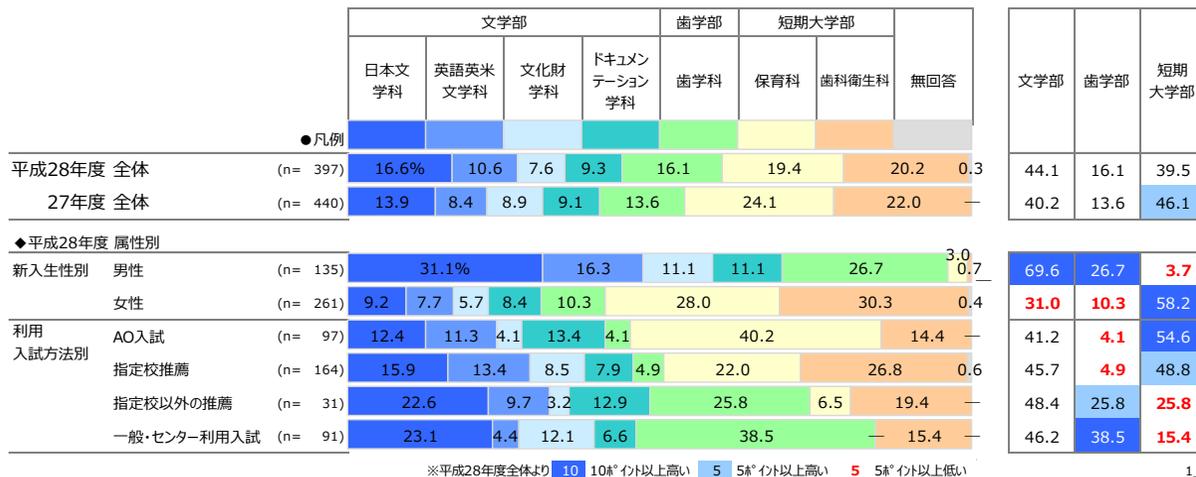
1_02

▶ 在籍学部学科は、「文学部」が44%、「歯学部」が16%、「短期大学部」が40%。

- 昨年度に比べて、「短期大学部」の割合が低い。
- 男性は「文学部・計」が7割、女性では「短期大学部」が6割を占め最も高い。また、男性では「歯学部」が27%を占める。
- 利用入試方法別にみると、AO入試層と指定校推薦層は「短期大学部」が5割。指定校以外推薦層と一般・センター利用入試層は「文学部」がおよそ5割を占める。また同層は全体に比べて「歯学部」の割合が高い。

■ 新入生の在籍学部学科（全体／単一回答）

Q3 学生ご本人の在籍学部学科をお知らせください。

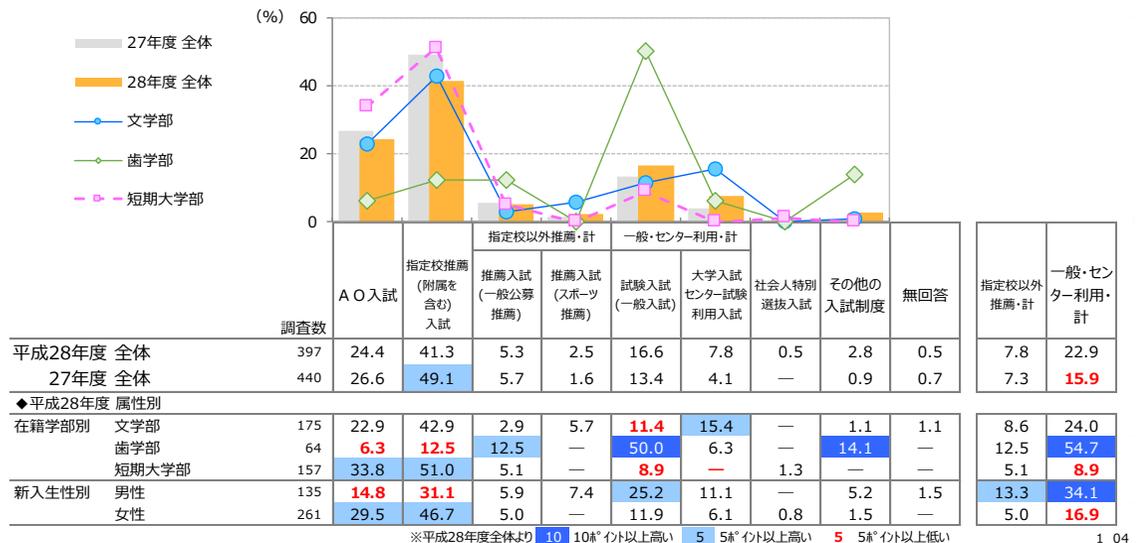


▶ 利用した入試方法は、「指定校推薦入試」が41%、「AO入試」が24%、「試験入試」が17%。

- 昨年度に比べて、「一般・センター利用・計」の割合が増加、「指定校推薦入試」が減少した。
- 在籍学部別にみると、文学部は「指定校推薦入試」、歯学部は「試験入試」、短期大学部は「指定校推薦入試」が主に利用した入試方法である。
 - 文学部は「指定校推薦入試」が最も高く、次いで「AO入試」。
 - 歯学部は「試験入試」が50%と高く、「指定校推薦入試」「推薦入試(一般公募推薦)」が1割台で続く。
 - 短期大学部は「指定校推薦」が51%と最も高く、次いで「AO入試」が34%が続く。
- 新入生の性別にみると、女性は1位「指定校推薦入試」、2位「AO入試」と全体と同様の傾向だが、全体を5ポイント以上上回る。
- 女性同様、男性でも「指定校推薦入試」が最も高いものの、31%と全体値を10ポイント程度下回る。2位は「試験入試」であり全体値より9ポイント程度高い。

■ 利用した入試方法（全体／複数回答）

Q4 学生ご本人はどの入試試験を受けて本学に入学しましたか。



【保護者の大学選択行動と意識】 保護者の受験時間関与度

▶ 保護者の受験時の関与度は、「非常に関わった」が23%。「ある程度関わった」(57%)まで含めた「関わった・計」は80%。

- 昨年度との大きな差異はみられない。
- 在籍学部別にみると、歯学部は「非常に関わった」が4割を占め、3学部の中で最も高い。
- 新入生の性別には大きな差異はみられない。
- 利用入試方法別にみると、一般・センター利用入試層は「非常に関わった」が32%と最も高い。指定校以外の推薦層は「非常に関わった」が16%と最も低く、「関わった・計」も7割弱と関与度が低い。
- OC・歯学部一日体験入学参加経験別にみると、参加層は不参加層に比べて「関わった・計」が高い。

■保護者の受験時間関与度（全体／単一回答）

Q5 学生ご本人の受験にどの程度関わりましたか。

		関わった・計		関わらなかった・計		どちらとも いえない	無回答	関わった・ 計	関わらな かった・計
		非常に (積極的に) 関わった	ある程度 関わった	あまり 関わらなかった	まったく 関わらなかった				
●凡例									
平成28年度 全体	(n= 397)	22.7%		56.9		14.6	1.3	79.6	19.1
27年度 全体	(n= 440)	21.4		55.9		18.0	4.5	77.3	21.8
◆平成28年度 属性別									
在籍学部別	文学部 (n= 175)	17.7%		58.3		16.6	0.6	76.0	23.4
	歯学部 (n= 64)	40.6		50.0		3.1	1.6	90.6	7.8
	短期大学部 (n= 157)	21.0		58.0		17.2	1.9	79.0	19.1
新入生性別	男性 (n= 135)	23.0		54.8		14.8	0.7	77.8	21.5
	女性 (n= 261)	22.6		57.9		14.6	1.5	80.5	18.0
利用入試方法別	AO入試 (n= 97)	21.6		59.8		14.4	1.0	81.4	17.5
	指定校推薦 (n= 164)	18.9		60.4		16.5	1.2	79.3	19.5
	指定校以外の推薦 (n= 31)	16.1		51.6		12.9	3.2	67.7	29.0
	一般・センター利用入試 (n= 91)	31.9		50.5		11.0	1.1	82.4	16.5
OC・体験入学参加経験別	参加 (n= 246)	22.8		62.6		11.0	1.2	85.4	13.4
	不参加 (n= 145)	22.1		49.0		20.7	1.4	71.0	27.6

※平成28年度全体より 10 10% イト以上高い 5 5% イト以上高い 5 5% イト以上低い

1_05

【保護者の大学選択行動と意識】保護者のオープンキャンパス・歯学部一日体験入学参加経験

▶ OC・歯学部一日体験入学には62%が参加しており、参加者のほぼ全員が参考になったと評価している。

- 昨年度に比べると、「参加・計」の割合は8ポイント程度低下した
- 在籍学部別にみると、短期大学部は「参加・計」が78%と3学部中で最も高く、次いで文学部が57%。歯学部は「参加・計」が4割程度に留まる。
- 新入生の性別にみると、女性は男性に比べて「参加・計」が高い。
- 利用入試方法別にみると、AO入試層と指定校推薦層は「参加・計」が8割に上るのに対し、一般・センター利用入試層は21%と低い。
- 受験時の関与度別にみると、関わった層(非常に関わった層、ある程度関わった層)は「参加・計」が6割を超えており、関わらなかった層に比べて高い。

■保護者のOC・歯学部一日体験入学参加経験と評価（全体／単一回答）

Q7 オープンキャンパス・歯学部一日体験入学に参加しましたか。

		参加・計		不参加	無回答	参加・計	
		参加した (参考になった)	参加した (参考にはならなかった)				
●凡例							
平成28年度 全体	(n= 397)	61.0%	1.0	36.5	1.5	62.0	
27年度 全体	(n= 440)	68.9	0.9	29.5	0.7	69.8	
◆平成28年度 属性別							
在籍学部別	文学部	(n= 175)	56.0%	0.6	41.7	1.7	56.6
	歯学部	(n= 64)	37.5	1.6	59.4	1.6	39.1
	短期大学部	(n= 157)	76.4	1.3	21.0	1.3	77.7
新入生性別	男性	(n= 135)	47.4	1.5	48.9	2.2	48.9
	女性	(n= 261)	68.2	0.8	29.9	1.1	69.0
利用入試方法別	AO入試	(n= 97)	79.4	1.0	17.5	2.1	80.4
	指定校推薦	(n= 164)	76.8	0.6	22.0	0.6	77.4
	指定校以外の推薦	(n= 31)	38.7	3.2	51.6	6.5	41.9
	一般・センター利用入試	(n= 91)	19.8	1.1	79.1	—	20.9
受験時の関与度別	非常に関わった	(n= 90)	61.1	1.1	35.6	2.2	62.2
	ある程度関わった	(n= 226)	67.3	0.9	31.4	0.4	68.1
	関わらなかった・計	(n= 76)	42.1	1.3	52.6	3.9	43.4

※平成28年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い

1_07

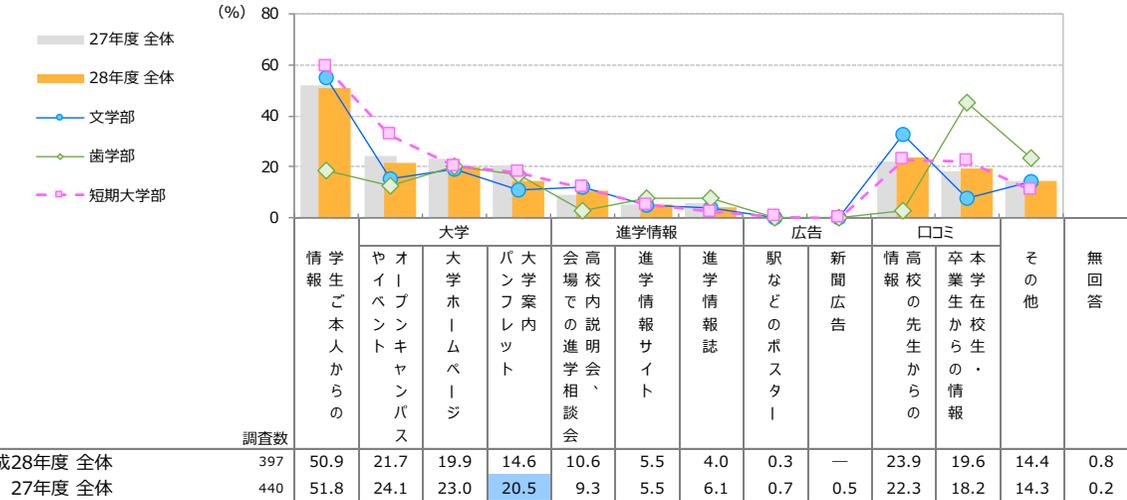
【保護者の大学選択行動と意識】 保護者の認知経路

▶ 保護者の鶴見大学の認知経路は、「学生ご本人からの情報」(51%)が最も高い。次いで「高校の先生からの情報」「オープンキャンパスやイベント」が2割超で続く。

- 昨年度と比べると、1位は昨年と同様「学生ご本人からの情報」。昨年3位だった「高校の先生からの情報」は「オープンキャンパスやイベント」を上回り2位に上昇。スコア変化をみると「大学案内パンフレット」が6ポイント低下した他、「大学ホームページ」「オープンキャンパスやイベント」も若干低下するなど、大学からの情報は全般に低下。
- 在籍学部別にみると、文学部・短期大学部の1位は「学生ご本人からの情報」、歯学部は「本学在校生・卒業生からの情報」。
 - 文学部のTOP2は全体と同様。2位「高校の先生からの情報」は全体に比べてスコアが高く、「オープンキャンパスやイベント」「本学在校生・卒業生からの情報」は逆に低い。
 - 歯学部は「本学在校生・卒業生からの情報」が45%と最も高く、「大学ホームページ」が2割台で続く。「学生ご本人からの情報」「オープンキャンパスやイベント」は全体に比べて低い。
 - 「その他」には、「塾の先生」「自身が卒業生」などの回答が挙げられている(自由回答より)。
 - 短期大学部は、TOP1は全体と同様、2位に「オープンキャンパスやイベント」がランクインする。これら2項目は全体値と比べてもスコアが高い。
- 新生生の性別にみると、男性1位は全体と同様に「学生ご本人からの情報」だが、女性に比べてスコアが低い。また男性は「オープンキャンパスやイベント」が女性を17ポイント下回る。
- 利用入試方法別にみると、AO入試層と指定校推薦層は「オープンキャンパスやイベント」、指定校以外の推薦層は「本学在校生・卒業生からの情報」「その他」、一般・センター利用入試層は「大学ホームページ」「進学情報サイト」がそれぞれ他の層に比べて高い。
- 受験時の関与度別にみると、関与度が高いほど「オープンキャンパスやイベント」「大学ホームページ」など大学発信の情報が高く、関与度が低いほど「学生ご本人からの情報」が高い。

■ 保護者の鶴見大学の認知経路 (全体/複数回答)

Q8 本学を知ったきっかけは何ですか。



■ 進学情報サイトの種類 (認知経路が進学情報サイトの者/複数回答)

Q8SQ2 本学を知ったきっかけは何ですか。進学情報サイトの種類

調査数	リンクナビ進学	マイナビ進学	マナビ進学	その他	無回答	
平成28年度 全体	22	27.3	13.6	9.1	13.6	45.5
27年度 全体	24	29.2	16.7	4.2	—	54.2

■ 進学情報誌の種類 (認知経路が進学情報誌の者/複数回答)

Q8SQ1 本学を知ったきっかけは何ですか。進学情報誌の種類

調査数	進学辞典	リンクナビ進学ブック	大学発見ナビブック	マナビ進学ブック	逆引き大学辞典	その他	無回答
平成28年度 全体	16	37.5	6.3	6.3	—	—	62.5
27年度 全体	27	22.2	3.7	7.4	—	—	66.7

◆ 平成28年度 属性別

調査数	学生ご本人からの情報	大学案内パンフレット	大学ホームページ	大学案内レター	大学ホームページ	会場での説明会、談話	高校内の進学相談	進学情報サイト	進学情報誌	駅などのポスター	新聞広告	高校の先生からの情報	卒業生からの情報	その他	無回答
在籍学部別															
文学部	175	54.9	15.4	19.4	10.9	12.0	5.1	4.0	—	—	32.6	8.0	14.3	0.6	
歯学部	64	18.8	12.5	20.3	17.2	3.1	7.8	7.8	—	—	3.1	45.3	23.4	3.1	
短期大学部	157	59.2	32.5	20.4	17.8	12.1	5.1	2.5	0.6	—	22.9	22.3	10.8	—	
新生性別															
男性	135	45.9	10.4	20.7	12.6	7.4	5.2	3.7	—	—	24.4	21.5	16.3	1.5	
女性	261	53.6	27.6	19.5	15.7	12.3	5.7	4.2	0.4	—	23.8	18.8	13.0	0.4	
利用															
AO入試	97	55.7	29.9	23.7	13.4	9.3	7.2	3.1	1.0	—	26.8	21.6	14.4	—	
指定校推薦	164	54.9	29.3	13.4	16.5	16.5	1.8	3.7	—	—	30.5	12.8	12.2	—	
指定校以外の推薦	31	45.2	12.9	9.7	12.9	3.2	3.2	—	—	—	16.1	32.3	22.6	3.2	
一般・センター利用入試	91	41.8	4.4	31.9	14.3	5.5	12.1	7.7	—	—	14.3	20.9	14.3	1.1	
受験時の関与度別															
非常に関わった	90	33.3	27.8	26.7	16.7	11.1	13.3	6.7	—	—	23.3	31.1	17.8	—	
ある程度関わった	226	50.9	23.5	22.1	17.3	10.6	3.5	3.5	0.4	—	26.1	18.6	13.7	0.9	
関わらなかった・計	76	69.7	10.5	5.3	5.3	10.5	1.3	2.6	—	—	19.7	10.5	11.8	1.3	
QC・体験入学参加経験別															
参加	246	48.8	31.7	21.1	16.7	14.6	3.3	3.3	0.4	—	28.0	22.0	13.0	—	
不参加	145	54.5	4.1	18.6	11.7	4.1	9.7	5.5	—	—	17.9	16.6	17.2	0.7	

※ カテゴリーごとに平成28年度全体のスコアの降順ソート

※平成28年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い 1_08

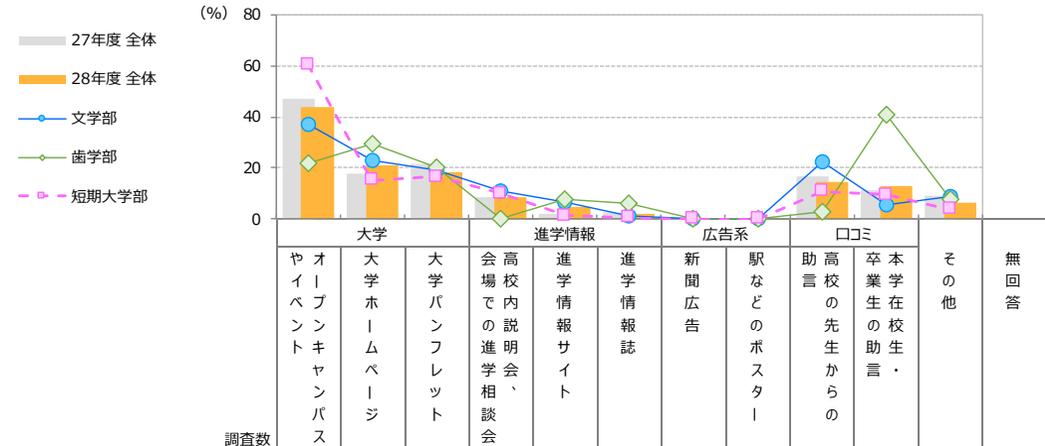
【保護者の大学選択行動と意識】保護者が一番参考にした情報源

▶ 保護者が一番参考にした情報源は、「オープンキャンパスやイベント」(44%)が最も高い。次いで「大学ホームページ」「大学パンフレット」が2割前後、「高校の先生からの助言」「本学在校生・卒業生の助言」が1割超で続く。

- 昨年度と比べると、1位は昨年と同様「オープンキャンパスやイベント」。昨年3位だった「大学ホームページ」は「大学パンフレット」を上回り2位に上昇。
- 所属学部別にみると、文学部・短期大学部の1位は「オープンキャンパスやイベント」、歯学部は「本学在校生・卒業生の助言」。
 - 文学部のTOP2は全体と同様だが、1位「オープンキャンパスやイベント」は全体に比べてスコアが低い。「高校の先生からの助言」を参考にしている割合が全体に比べて高く、3位にランクイン。
 - 歯学部は「本学在校生・卒業生の助言」(40%)が最も高い。次いで「大学ホームページ」「オープンキャンパスやイベント」「大学パンフレット」が3~2割で続く。
 - 短期大学部でも、1位「オープンキャンパスやイベント」は全体と同様であるが、スコアが6割と突出して高い。
- 新入生の性別にみると、男性は「大学ホームページ」が最も高い。全体でTOPの「オープンキャンパスやイベント」を参考にしている割合は22%で2位。女性は「オープンキャンパスやイベント」が55%と突出して高い。
- 利用入試方法別にみると、AO入試層と指定校推薦層は「オープンキャンパスやイベント」が突出。指定校以外の推薦層では「高校の先生からの助言」が1位。また「本学在校生・卒業生の助言」を参考にしている割合が全体に比べて高い。一般・センター利用入試層では「大学ホームページ」が1位。また全体に比べて「進学情報サイト」「本学在校生・卒業生の助言」が高い。
- 受験時の関与度別にみると、関わった層(非常に関わった、ある程度関わった)は、関わっていない層に比べて、「オープンキャンパスやイベント」「大学ホームページ」「大学パンフレット」「本学在校生・卒業生の助言」が高い。関わっていない層は「高校の先生からの助言」が関わった層に比べて高い。
- OC・歯学部一日体験入学参加経験別にみると、不参加層は「大学ホームページ」が最も高い。

■ 保護者が一番参考にした情報源 (全体/複数回答)

Q9 学生ご本人の進学先を考えると、一番参考にしたものは何ですか。



■ 進学情報誌の種類 (参考にした情報が進学情報誌の者/複数回答)

Q9SQ1 学生ご本人の進学先を考えると、一番参考にしたものは何ですか。進学情報誌の種類

調査数	進学情報誌の種類	スコア
7	リクナビ進学	14.3
11	マイナビ進学	—
—	マナビジョンス	—
—	逆引き大学辞典	—
—	その他	—
—	無回答	85.7
10	28年度全体	10.0
10	27年度全体	10.0

■ 進学情報サイトの種類 (参考にした情報が進学情報サイトの者/複数回答)

Q9SQ2 学生ご本人の進学先を考えると、一番参考にしたものは何ですか。進学情報サイトの種類

調査数	進学情報サイトの種類	スコア
19	リクナビ進学	26.3
10	マイナビ進学	30.0
10	マナビジョンス	30.0
10	B n e	21.1
—	その他	5.3
—	無回答	42.1
10	28年度全体	10.0
10	27年度全体	10.0

調査数	大学ホームページ	大学パンフレット	進学情報サイト	進学情報誌	新聞広告	駅などのポスター	高校の先生からの助言	本学在校生の助言	その他	無回答
397	43.8	20.9	4.8	1.8	—	—	14.6	12.8	6.5	2.3
440	47.0	17.7	2.3	2.5	0.2	—	16.8	11.1	8.9	1.1
175	37.1	22.9	6.9	1.1	—	—	22.3	5.7	8.6	2.9
64	21.9	29.7	7.8	6.3	—	—	3.1	40.6	7.8	3.1
157	60.5	15.3	1.3	0.6	—	—	10.8	9.6	3.8	1.3
135	22.2	25.9	5.9	3.0	—	—	19.3	14.8	8.1	5.2
261	55.2	18.4	4.2	1.1	—	—	12.3	11.5	5.7	0.8
97	61.9	14.4	4.1	2.1	—	—	14.4	11.3	4.1	1.0
164	56.7	12.8	0.6	0.6	—	—	14.0	7.3	4.9	0.6
31	22.6	16.1	3.2	—	—	—	35.5	19.4	9.7	6.5
91	13.2	45.1	4.4	—	—	—	8.8	18.7	11.0	2.2
90	45.6	21.1	7.8	5.6	—	—	12.2	18.9	8.9	1.1
226	46.9	23.5	10.6	3.5	—	—	13.7	11.9	4.0	1.3
76	34.2	11.8	9.2	1.3	—	—	21.1	7.9	10.5	6.6
246	61.0	13.0	2.0	0.8	—	—	15.4	12.2	1.2	1.6
145	15.2	35.2	9.7	2.8	—	—	13.8	14.5	15.9	1.4

※ カゴリーごとに平成28年度全体のスコアの降順ソート

※ 平成28年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い 1_09

【保護者の大学選択行動と意識】 保護者が進学を奨めた理由

▶ 保護者が進学を奨めた理由は「学びたい学科・授業内容があるから」(69%)が最も高く、「交通の便・立地条件」(47%)「資格取得・就職サポート」(44%)が4割台で続く。

- 昨年度と比べると、1位は同様。2位だった「資格取得・就職サポート」はスコアを5ポイント下げ3位、「交通の便・立地条件」はスコアに変動がないものの2位に上昇した。
- 在籍学部別にみると、「学びたい学科・授業内容があること」はいずれの学部でも1位。歯学部は「大学の教育方針・理念」「学内の雰囲気」「施設・設備」など学習環境に関する項目のスコアが高い。短期大学部は「資格取得・就職サポート」が他学部比べて高い。

- 文学部は、TOP3の項目は全体と同様だが、「資格取得・就職サポート」が全体を約20ポイント下回るほか、「施設・設備」「本学在校生・卒業生からの薦め」も相対的に低い。一方、「高校の先生の薦め」は相対的に高い。
- 歯学部は、「大学の教育方針・理念」「本学在校生・卒業生からの薦め」が全体を10ポイント以上上回るほか、「学内の雰囲気」「受験しやすい入試制度」「施設・設備」が相対的に高い。
- 短期大学部は、「学びたい学科・授業内容がある」と「資格取得・就職サポート」が同率でトップ。

- 新入生の性別にみると、男性のTOP3の項目は全体と同じだが、いずれもスコアが全体に比べて低い。全体に比べてスコアが高い項目は「大学の教育方針・理念」「クラブ・サークル」。女性は「資格取得・就職サポート」が男性に比べて高く、2位にランクイン。

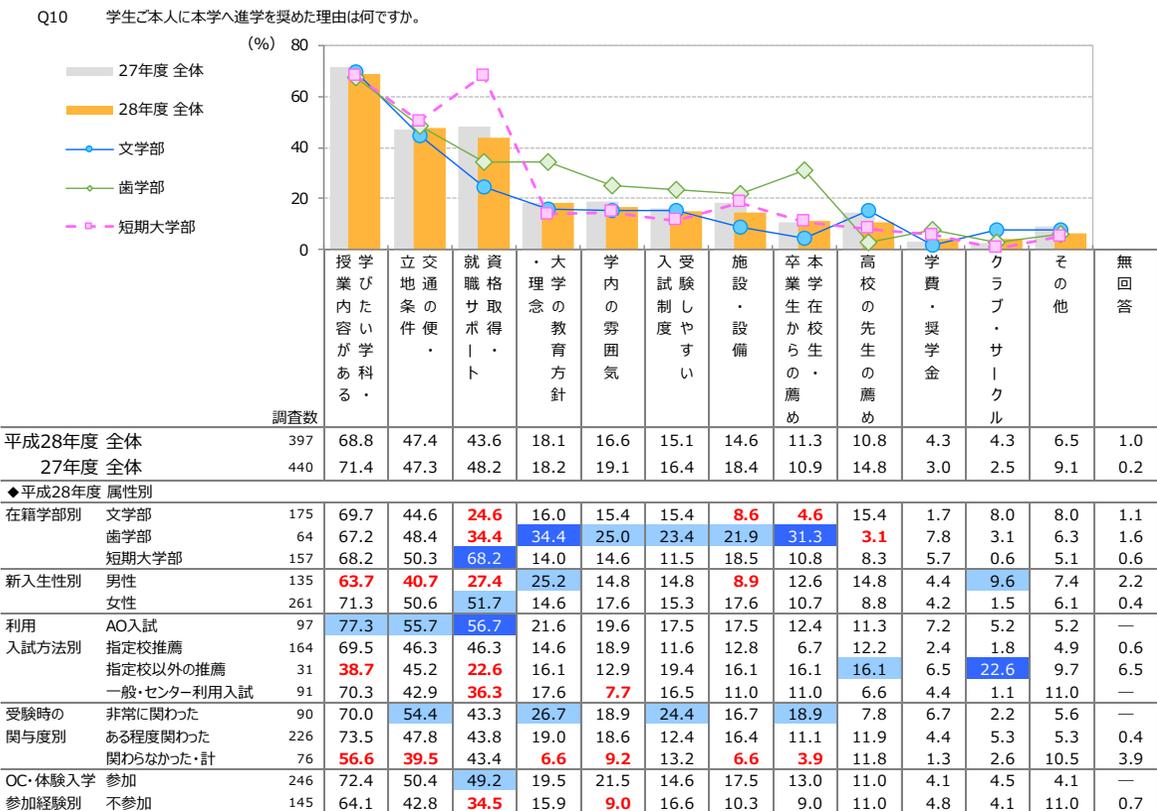
- 利用入試方法別にみると、AO入試層は「資格取得・就職サポート」が2位にランクイン。その他上位の「学びたい学科・授業内容がある」「交通の便・立地条件」も全体値に比べてスコアが高い。

指定校以外の推薦層は「クラブ・サークル」「高校の先生の薦め」が他層に比べて高く、「学びたい学科・授業内容がある」「資格取得・就職サポート」が低い。

- 受験時の関与度別にみると、非常に関わった層は、「交通の便・立地条件」「大学の教育方針・理念」「受験しやすい入試制度」「本学在校生・卒業生からの薦め」が他層に比べて高い。

- OC・歯学部一日体験入学参加経験別にみると、参加層は「資格取得・就職サポート」が高い。

■ 保護者が鶴見大学への進学を奨めた理由（全体／複数回答）



※ 平成28年度全体のスコアの降順ソート

※平成28年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い

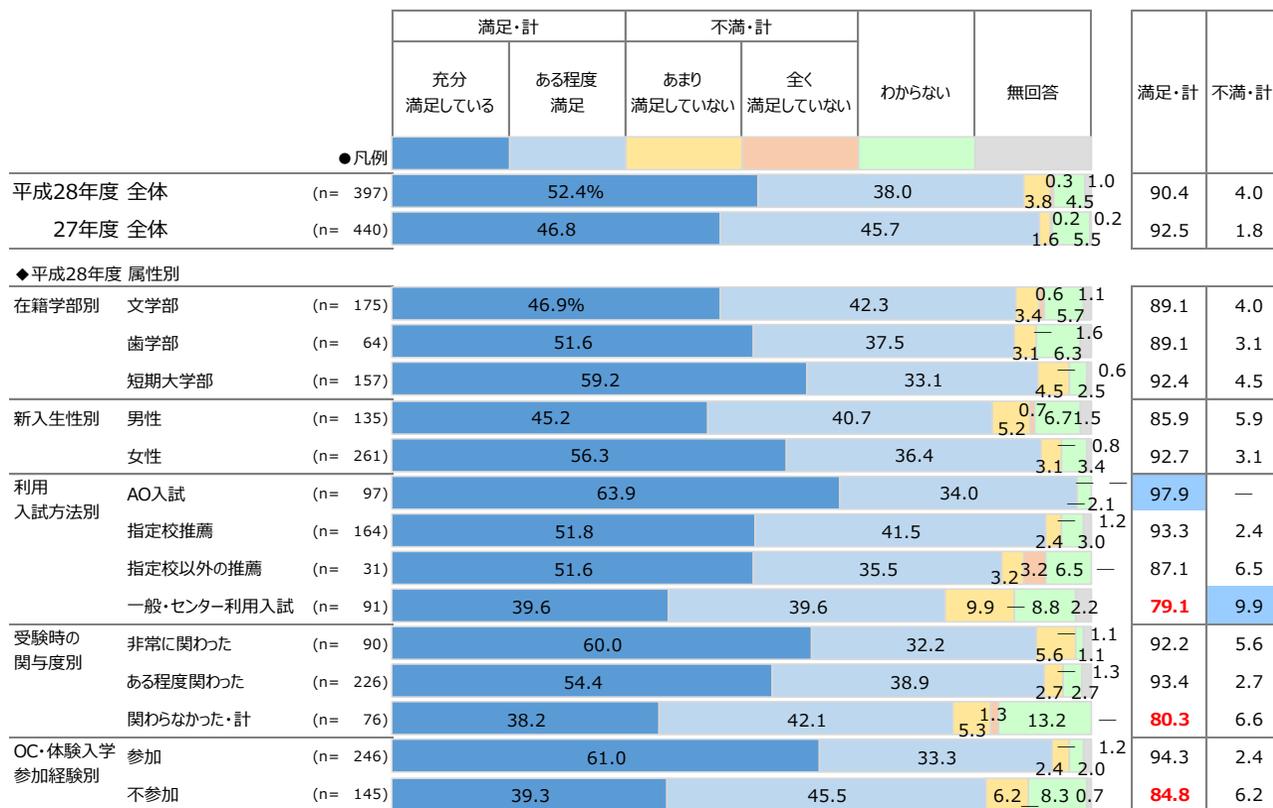
【保護者の大学選択行動と意識】 入学に対する満足度

▶ 入学に対する満足度は、「充分満足している」が52%、「ある程度満足」(38%)まで含めた「満足・計」は90%。

- 昨年度と比べて、「充分満足している」は5ポイント程度増加したが、「満足・計」は昨年度と同程度に留まった。
- 在籍学部別にみると、いずれの学部も「満足・計」は約9割。短期大学部はTOPBOX「充分満足している」が約6割に達する。
- 新入生の性別にみると、女性は男性に比べて満足度が高い。
- 利用入試方法別にみると、「充分満足している」はAO入試層が最も高く、以下、指定校推薦／指定校以外の推薦／一般・センター利用入試の順で高い。
- 受験時の関与度別にみると、関与度が高いほど「充分に満足している」が高い。
- OC・体験入学参加経験別にみると、参加層は不参加層に比べて「充分満足している」が20ポイント以上高い。

■ 鶴見大学入学に対する満足度（全体／単一回答）

Q6 学生ご本人が本学に入学されたことについて満足しておられますか。



※平成28年度全体より 10 10ポイント以上高い 5 5ポイント以上高い 5 5ポイント以上低い

1_06

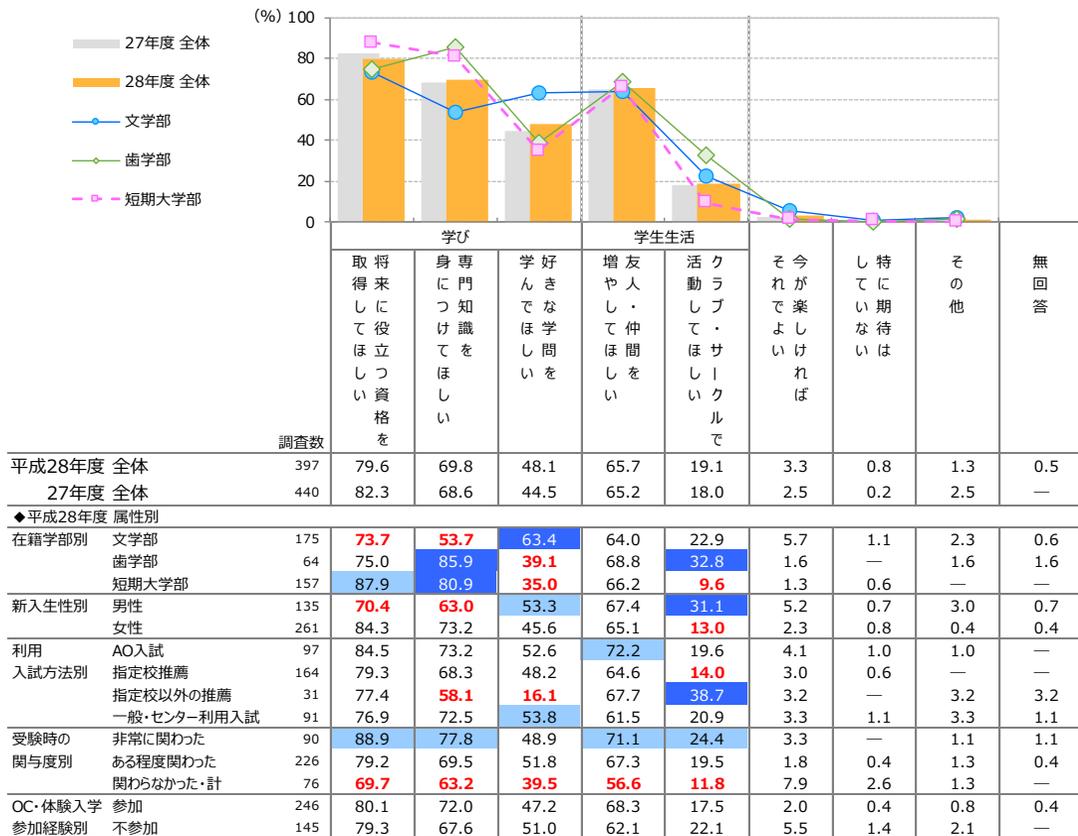
【保護者の大学に対する期待】 保護者が学生生活に期待する事柄

▶ 保護者が学生生活に期待する事柄は、「将来に役立つ資格を取得して欲しい」(80%)が最も高く、次いで「専門知識を身につけてほしい」(70%)。これに「友人・仲間を増やしてほしい」が66%で続く。

- 昨年度との大きな差異はみられない。
- 在籍学部別にみると、文学部は「好きな学問を学んでほしい」が他学部比べて高く、歯学部・短期大学部は「専門知識を身につけてほしい」が文学部比べて高い。
 - 文学部は、「将来に役立つ資格を取得して欲しい」「専門知識を身につけてほしい」という期待はあるものの他の学部と比較すると相対的にスコアが低い。「好きな学問を学んでほしい」と期待する割合が他学部比べて高く、3位にランクインする。
 - 歯学部は、「専門知識を身につけてほしい」(86%)を最も期待しており他学部比べても高い。また「クラブ・サークルで活動してほしい」も相対的に高い。
 - 短期大学部は「将来に役立つ資格を取得して欲しい」(88%)が最も高く、「専門知識を身につけてほしい」も8割を越えるなど、他学部比べて資格取得に関する項目のスコアが高い。
- 新入生の性別にみると、男性は「好きな学問を学んでほしい」「友人・仲間を増やしてほしい」が女性に比べて高い。
- 利用入試方法別にみると、AO入試層は「友人・仲間を増やしてほしい」、指定校以外の推薦層は「クラブ・サークルで活躍してほしい」、一般・センター利用入試は「好きな学問を学んでほしい」がそれぞれ相対的に高い。
- 受験時の関与度別にみると、関与度が高いほど「将来に役立つ資格を取得して欲しい」「専門知識を身につけてほしい」「友人・仲間を増やしてほしい」「クラブ・サークルで活動してほしい」が高い。
- OC・歯学部一日体験入学参加経験別にみると、参加層は「専門知識を身につけてほしい」「友人・仲間を増やしてほしい」、不参加層は「好きな学問を学んでほしい」「クラブ・サークルで活躍してほしい」がそれぞれ若干ではあるが高い。

■ 保護者が学生生活に期待する事柄 (全体/複数回答)

Q11 学生ご本人のこれからの学生生活に期待していることのようなことですか。



※ カテゴリごとに平成28年度全体のスコアの降順ソート

※平成28年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以下低い 1_11

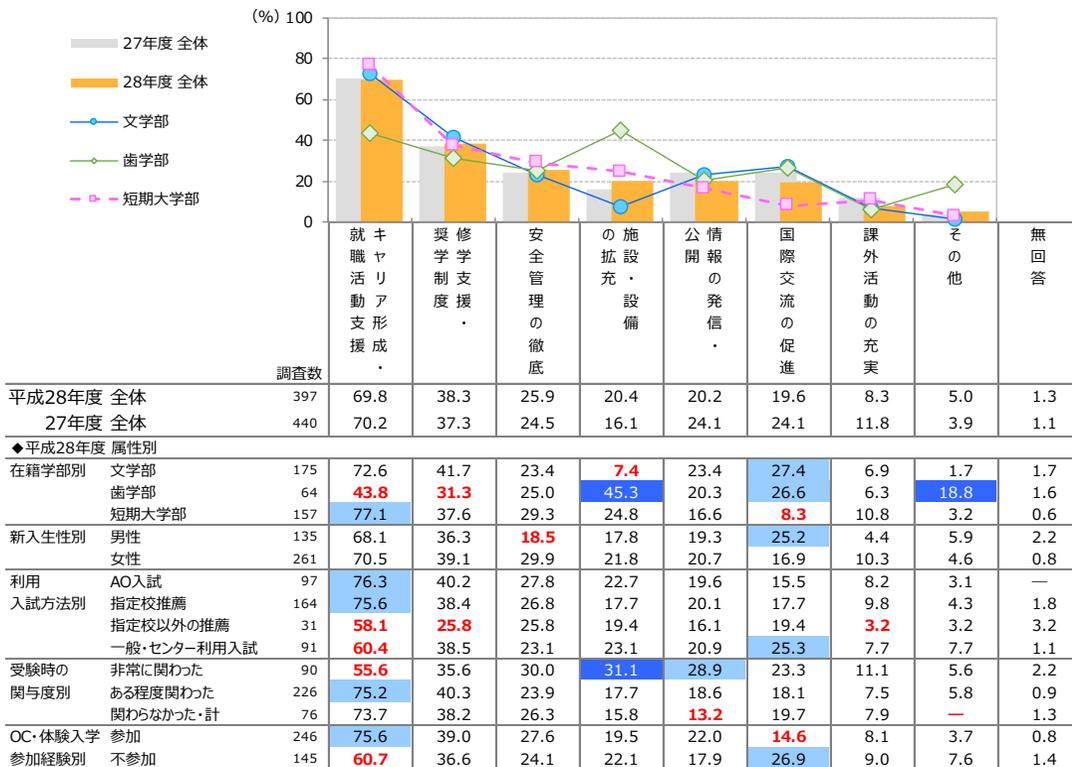
【保護者の大学に対する期待】 重点的に取組んでほしい事柄

▶ 重点的に取組んでほしい事柄は、「キャリア形成・就職活動支援」(70%)が突出。次いで「修学支援・奨学制度」(38%)が続く。

- さらに「安全管理の徹底」「国際交流の促進」「情報の発信・公開」が2割台で続く。
- 昨年度と比べると、「施設・設備の拡充」の割合が若干ではあるが増加した。
- 在籍学部別にみると、文学部・短期大学部の1位は「キャリア形成・就職活動支援」。歯学部は「施設・設備の拡充」。
 - 文学部は、TOP2は全体と同様、3位は「国際交流の促進」がランクインしており、他学部比べて重点的に取組んでほしい意向が強い。
 - 歯学部は、「施設・設備の拡充」が最も高い。次いで「キャリア形成・就職活動支援」が2位にランクインしているものの、他学部比べてスコアは低い。
 - 短期大学部は、全体に比べて「キャリア形成・就職活動支援」が高く、「国際交流の促進」が低い。
- 新入生の性別にみると、男性では「国際交流の促進」が3位にランクイン。
- 利用入試方法別にみると、AO入試層・指定校推薦層は「キャリア形成・就職活動支援」が他層に比べて高い。一般・センター利用入試層は「国際交流の促進」が相対的に高い。
- 受験時の関与度別にみると、関与度が高いほど「施設・設備の充実」「情報の発信・公開」のスコアが高い。ある程度関わった層と関わらなかった層は、「キャリア形成・就職活動支援」が非常に関わった層に比べて高い。
- OC・歯学部一日体験入学参加経験別にみると、参加層は「キャリア形成・就職活動支援」が相対的に高いが、不参加層は「国際交流の促進」が低い。

■ 鶴見大学に重点的に取り組んでほしい事柄 (全体/複数回答)

Q12 今後、本学に重点的に取組んでもらいたいことはどのようなことですか。



※平成28年度全体のスコアの降順ソート

※平成28年度全体より 10 10%以上高い 5 5%以上高い 5 5%以上低い 1 1.1



調査票

「平成28年度 新入生保護者アンケート」

(ご記入にあたって)

- ・学生ご本人に関わる設問以外は保護者様ご自身にお尋ねいたします。各設問の該当する番号に「○」をつけてください。
- ・その他を選択された場合、記入事項がありましたら()にご記入ください。

問 1 学生ご本人との続柄をお知らせください。

1 親	3 兄弟
2 祖父母	4 その他()

問 2 学生ご本人の性別をお知らせください。

1 男性	2 女性
------	------

問 3 学生ご本人の在籍学部学科をお知らせください。

1 文学部 日本文学科	5 歯学部 歯学科
2 文学部 英語英米文学科	6 短期大学部 保育科
3 文学部 文化財学科	7 短期大学部 歯科衛生科
4 文学部 ドキュメンテーション学科	

問 4 学生ご本人はどの入学試験を受けて本学に入りましたか。

1 AO入試	5 試験入試(一般入試)
2 指定校推薦(附属を含む)入試	6 大学入試センター試験利用入試
3 推薦入試(一般公募推薦)	7 社会人特別選抜入試
4 推薦入試(スポーツ推薦)	8 その他()

問 5 学生ご本人の受験にどの程度関わりましたか。

1 非常に(積極的に)関わった	4 まったく関わらなかった
2 ある程度関わった	5 どちらともいえない
3 あまり関わらなかった	

問 6 学生ご本人が本学に入学されたことについて満足しておられますか。

1 充分満足している	4 全く満足していない
2 ある程度満足	5 わからない
3 あまり満足していない	

問 7 オープンキャンパス・歯学部一日体験入学に参加しましたか。

1 参加した(参考になった)	3 不参加
2 参加した(参考にはならなかった)	

問 8 本学を知ったきっかけは何ですか。(複数回答可)

1 学生ご本人からの情報	7 高校内説明会、会場での進学相談会
2 大学ホームページ	8 新聞広告 ※該当するものを「○」で囲んでください。
3 大学案内パンフレット	・読売・朝日・毎日・日本経済
4 オープンキャンパスやイベント	・産経・神奈川・その他()
5 進学情報誌 ※該当するものを「○」で囲んでください。	9 駅などのポスター
・リカド進学ブック進学辞典・マナビジョンブック大学発見ナビ	10 高校の先生からの情報
・逆引き大学辞典・その他()	11 本学在校生・卒業生からの情報
6 進学情報サイト ※該当するものを「○」で囲んでください。	12 その他()
・リカド進学・マイナビ進学・Benesseマナビジョン	
・その他()	

(裏面に続きます)

問 9 学生ご本人の進学先を考えるときに、一番参考にしたものは何ですか。

1 大学ホームページ	6 高校内説明会、会場での進学相談会
2 大学パンフレット	7 新聞広告 ※該当するものを「○」で囲んでください。
3 オープンキャンパスやイベント	・読売・朝日・毎日・日本経済
4 進学情報誌 ※該当するものを「○」で囲んでください。	・産経・神奈川・その他()
・リカド進学ブック進学辞典・マナビジョンブック大学発見ナビ	8 駅などのポスター
・逆引き大学辞典・その他()	9 高校の先生からの助言
5 進学情報サイト ※該当するものを「○」で囲んでください。	10 本学在校生・卒業生の助言
・リカド進学・マイナビ進学・Benesseマナビジョン	11 その他()
・その他()	

問 10 学生ご本人に本学へ進学を奨めた理由は何ですか。(複数回答可)

1 大学の教育方針・理念	7 交通の便・立地条件
2 学びたい学科・授業内容がある	8 クラブ・サークル
3 資格取得・就職サポート	9 受験しやすい入試制度
4 施設・設備	10 高校の先生からの薦め
5 学内の雰囲気	11 本学在校生・卒業生からの薦め
6 学費・奨学金	12 その他()

問 11 学生ご本人のこれからの学生生活に期待していることはどのようなことですか。(複数回答可)

1 好きな学問を学んでほしい	5 クラブ・サークルで活動してほしい
2 専門知識を身につけてほしい	6 今が楽しければそれでよい
3 将来に役立つ資格を取得してほしい	7 特に期待していない
4 友人・仲間を増やしてほしい	8 その他()

問 12 今後、本学に重点的に取組んでもらいたいことはどのようなことですか。(複数回答可)

1 修学支援・奨学制度	5 課外活動の充実
2 キャリア形成・就職活動支援	6 国際交流の促進
3 施設・設備の拡充	7 情報の発信・公開
4 安全管理の徹底	8 その他()

◎ 本学に関するご意見等がございましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

※お忙しいところ大変恐縮ではございますが、平成28年5月13日(金)までに同封の返信用封筒にて、ご返送くださるよう、よろしくお願い申し上げます。